



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

2025.10.1(No.3259)
週報 No.12

ロータリーで善の循環を

第2560地区ガバナー／室賀 信 宏
会 長／柳 取 崇 之
会長エレクト／小 林 吾 郎 (クラブ奉仕A)
副 会 長／吉 井 直 樹
幹 事／早 川 滝 徳
S A A／長谷川正実
会 計／船 越 良 則
直 前 会 長／渡 辺 良 一
会長ノミニー／明田川賢一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095
E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
https://www.sanjorotary.site

■本日の出席会員数:56名中38名
■先々週出席率:85.45%

【先週のメイクアップ】

[9.25] 地区大会記念ゴルフ大会 (田上) へ

・小越憲泰さん、 杉山幸英さん、
・中村和彦さん、 野崎喜一郎さん、
・早川滝徳さん、 本間幸雄さん、
・丸山行彦さん、 柳取崇之さん、
・渡辺良一さん

[9.25] 三条東RCへ

・斎藤弘文さん、 五十嵐晋三さん、
・中林順一さん、 小林卓哉さん、
・荻根澤隆雄さん、 岩橋美穂さん

[9.27] 第4分区IM (燕) へ

・柳取崇之さん、 早川滝徳さん、
・相場弘介さん、 明田川賢一さん、
・五十嵐晋三さん、 石倉政雄さん、
・石橋育於さん、 荻根澤隆雄さん、
・小越憲泰さん、 嘉瀬一洋さん、
・菊池 涉さん、 小林吾郎さん、
・近藤雄介さん、 佐野勝榮さん、
・清水泰生さん、 白鳥 賢さん、
・杉山幸英さん、 関川 博さん、
・高橋俊樹さん、 滝沢 亮さん、
・中村和彦さん、 西山徳芳さん、
・野崎喜一郎さん、 野水靖之さん、
・長谷川正実さん、 船越良則さん、
・松永隆夫さん、 渡辺良一さん
(28名)

[9.30] 三条北RCへ

・中林順一さん、 丸山行彦さん、
・白鳥 賢さん、 白倉徳幸さん、
・渡部 宏さん、 斎藤弘文さん、
・高橋俊樹さん、 小越憲泰さん、
・中村和彦さん

よいことのために
手を取りあおう

2025～2026年度国際ロータリー会長メッセージ



「嵐南公民館にて (投稿者:荻根澤隆雄さん)」

会長挨拶

柳取崇之 会長

皆さんこんにちは。

10月に入りました。朝晩めっきりと寒くなってきました。体調など崩さないようご自愛ください。

先週末に開催されました第4分区IMの三条クラブの参加者は28名でした。

分区内で一番多くの参加を頂き大変ありがとうございました。主催されました青柳ガバナー補佐、燕RCの会長・幹事並びに実行委員会の皆様より大変感謝をされましたことご報告いたします。

また、先週水・木曜日の二日間に渡り地区大会記念ゴルフ大会が湯田上カントリーにて開催され、三条クラブは木曜日の25日に9名の精鋭で参加をして参りました。

クラブ内上位三名のスコアで順位が決まるようであります。優勝するかもしれませんので大いに期待したいと思います。尚ゴルフの表彰は地区大会二日目に予定をされています。

最後に今月の25・26日と地区大会が開催されます。

室賀年度の全クラブ対象の地区行事は国際大会を除き地区大会で終了となります。他クラブの皆さんと会えるのが最後になりますので、楽しんで交流をして頂ければ幸いです。

本日はIM報告になりますのでよろしくお願いいたします。

以上 挨拶を終わります。

幹事報告

早川滝徳 幹事



- ◎2025年10月のロータリーレートは、1ドル149円です。
- ◎室賀ガバナー事務所より
「ガバナー月信10月号発行のお知らせ」
- ◎次週8日(水)～9日(木)は、親睦旅行です。
親睦旅行ご欠席の方は、8日(水)に事務局で記帳または他クラブでメイクアップをお願いいたします。

ニコニコBOX

柳取崇之 会長

IMにご参加いただきありがとうございました。
本日IMの報告をいたします。

渡辺良一さん

ゴルフの季節です。毎週予定があります。ゴルフ三昧です！
IM報告よろしく願いいたします。

吉井直樹さん

朝、顔を洗う水が冷たく感じる様になりました。
季節の進みを確認できます。
本日IMの報告よろしく願いします。

斎藤弘文さん

社員旅行で大阪・関西万博と京都に行ってきました。疲れしました。

野水靖之さん

娘の絵を週報に掲載いただき恐縮です。ありがとうございます。

荻根澤隆雄さん

先週の第4分区IM楽しかったです。
本年もあと「みつき」3か月これから何をするか！考えます。

嘉瀬一洋さん

IM大変お疲れ様でした。クラブアンケートを題材にしたミーティングは素晴らしい企画でした。

菊池 渉さん

10月1日、衣替えです。
午前中ふすま、午後装束を変え、秋冬に向かいます。

長谷川正実さん

寒くなってきましたね。

杉山幸英さん

10月になりました。すこし過ごしやすくなりました！

IMの報告ご苦労様です。

小林吾郎さん

万博に行ってきました。

成田秀雄さん

すみません。早退します。

五十嵐晋三さん、 石倉政雄さん、 明田川賢一さん、
松永一義さん、 中林順一さん、 小林卓哉さん、
山田富義さん、 落合孝夫さん、 五十嵐博宣さん、
松永隆夫さん、 早川滝徳さん、 本間幸雄さん、
清水泰生さん、 関川 博さん、 高橋俊樹さん、
安達俊明さん、 小越憲泰さん、 歸山 肇さん

IMに参加された皆さんお疲れ様でした。
本日はIM報告よろしく願いいたします。

10月1日分	¥30,000
今年度累計	¥491,000

「IM報告」



柳取崇之 会長

IM報告致します。

初めにロータリーの友編集長 野崎恭子様の講話で開始されました。

野崎さんは黒崎の出身であり、白根RCで2年ほど事務局をされていたそうです。

その後、編集にまつわる話をされ、私が印象に残ったのはロータリーの友の内容のほとんどが成功体験の話題が多いと言われておりました。これは各地区のロータリーの友の担当者から送られてくる原稿がほとんど良いことの原稿しかないとのことで、皆さんには是非、上手くいかなかったことや失敗した事なんかも提案してほしいと話されておりました。

その後、青柳ガバナー補佐並びにロータリーの友、野崎編集長の提案で30分ほどでありましたが講話の後、テーブルリーダーを配置してテーブル毎にてのディスカッションを行いました。基本的にはアンケート項目に基づく内容にて話し合いが行われました。

現在のロータリーに対する思いや個人的な趣味など多岐にわたっての自己紹介を兼ねた意見交換などがなされ、あっという間の30分でありました。最後

に青柳ガバナー補佐、室賀ガバナー、野崎編集長の講評があり懇親会へと移りました。

今回のIMで気になった所は、テーブルリーダーに意見交換会についての指導が無かったこと、またアトラクションの音量が大きすぎたこと。

アトラクションバンドとカラオケが始まったことなど、当クラブが70周年時に気を付けなければならない所だと感じました。

ここで、三条クラブのアンケート内容のお示し、青柳ガバナーの分区全体のアンケート内容のまとめを報告いたします。

■三条ロータリークラブ アンケート集計

① なぜ、あなたはロータリアンですか？

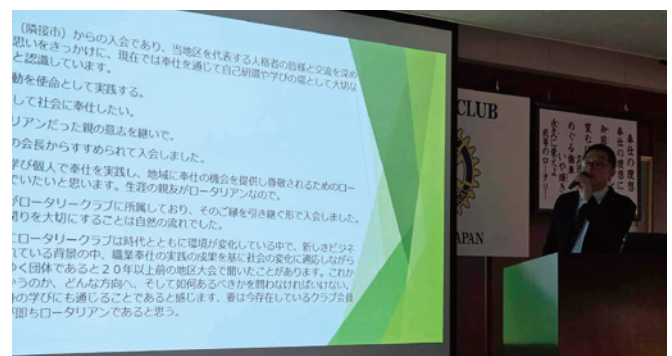
- ・あえてロータリアンでなくても良かったが、父親が同様の会に入っていた姿を見て楽しそうだったので自分が何らかの奉仕活動することに抵抗はなかった。
- ・日常の生活では知り合えない方々と交流ができる
- ・自己研鑽の場であり、社会にとって良いことをしようというメンバーと交流できるから
- ・大先輩方から昔の地域の話など聞かせていただいたり、立ち振る舞いなどで指導いただける点です。年齢によって卒業がある青年団とは違う刺激があります。
- ・先輩に強引に勧められて入会しました。
- ・知人に誘われたから
- ・知人にさそわれてなんとなく入会した
- ・知人に誘われてロータリーに入会しました。
- ・平成元年7月入会 三条青年会議所会員であり、二足のわらじでした。それ以来36年間在籍中です。なぜなのは2名の方に勧められたから。
- ・父がチャーターメンバーであり自動的に入会させられた
- ・他地区（隣接市）からの入会であり、当地区を代表する人格者の皆様と交流を深めたいとの思いをきっかけに、現在では奉仕を通じて自己研鑽や学びの場として大切な会の一員と認識しています。
- ・奉仕活動を使命として実践する。
- ・RCを通して社会に奉仕したい。
- ・ロータリアンだった親の意志を継いで。
- ・取引先の会長からすすめて入会しました。
- ・奉仕を学び個人で奉仕を実践し、地域に奉仕の機会を提供し尊敬されるためのロータリアンでいたいと思います。生涯の親友がロータリアンなので。
- ・前任者がロータリークラブに所属しており、そ

のご縁を引き継ぐ形で入会しました。地域との関りを大切にすることは自然の流れでした。

- ・ある時にロータリークラブは時代とともに環境が変化している中で、新しきビジネスが生まれている背景の中、職業奉仕の実践の成果を基に社会の変化に適応しながら発展してゆく団体であると20年以上前の地区大会で聞いたことがあります。これから何に向かうのか、どんな方向へ、そして如何あるべきかを問わなければいけない。これは自身の学びにも通じることであると感じます、要は今存在しているクラブ会員で有る事が即ちロータリアンであると思う。

② ロータリーで好きな活動は何ですか？

- ・会員同士の親睦活動。
- ・例会の参加
- ・親睦を図れる活動
- ・地区大会参加が好きです、同志が一堂に会しその雰囲気が大変気に入っています、その後の講演そして懇親会が楽しみです。
- ・毎週の例会、いろいろの方と話ができるため。
- ・親睦旅行
- ・交流を通じた情報交換
- ・例会
- ・社会奉仕活動で公園の草刈り、施設へのサンタ、施設での餅つき等です。
- ・社会奉仕、国際奉仕（姉妹クラブも含む）活動。
- ・社会奉仕 この頃は金さえ出せばよいという風潮になってきている？
- ・ポリオ撲滅に対する活動は非常に共感しています。
- ・社会奉仕活動
- ・社会奉仕活動
- ・例会
- ・社会奉仕
- ・日々重ねる国際ロータリー活動や規則に学び、地区の皆様からの問い合わせにお答えする活動が好きです。ロータリーで学んだ奉仕の精神を自らの活動で実践できること。
- ・会員の意見交換を通じて深められる各種懇親会。



- ・クラブから感じた事を自身の職業にも生かしながら、且つクラブ活動の中で様々な奉仕活動の実践、そして親睦と多様性そして高潔性、次に指導性を以て地域社会に多く貢献いたす行動そのものが好きな活動と考える。
- ・クラブ内における交流で会員相互の友愛と理念を持った活動から自身の人生に生かせる様々な考えと力を得られている事が大変に良き事とと思っている。何れにしろ、全ては巡り合わせ。

③ ロータリーに入って良かったと思う経験は何ですか？

- ・若造と年配の人など世代を越えた交流ができたこと。特に長い経験を経た人たちのお話はとても参考、救いになった。
- ・特段のトピックスはありませんが、例会参加をはじめとする活動そのものがいい経験になっている。
- ・異業種、異世代との交流。
- ・名古屋へ出張時のメイクアップの事です。尾張徳川21代目徳川義宣氏の卓話でした、四才から学習院で上皇と同期の方でした、徳川美術館が戦災でやられそれを現在の美術館に復興する話でした、気さくで話をされていました。かえって回りの方達が緊張をしていたようでした、このような機会はめったにないと思いました。
- ・同年代以外の知り合いが増えた事。
- ・仕事以外の人達と親しくお付き合いが出来る事。
- ・仲間。
- ・多くの人と知り合いになれた。
- ・異業種の人々と知り合いに成れた事です。
- ・異業種の方々と知り合い、懇親を深めて友情を育む事は人生にとって必要と思われるから。
- ・色々な知人ができた。
- ・入会していなければ直接お話ができないような大先輩の方々から直接指導や薫陶をいただけるところです。
- ・地域社会において交友関係が広がった。
- ・財団の資金を活用して、地元の文化活動を応援させていただいたこと。



- ・たくさんの仲間ができた事。
- ・異業種との交流。
- ・世界大会への参加です。世界中から集まるロータリアンと同じバッチを胸につけて、同じ志に触れることができた経験です。他地区のMakeupなどで知り合いが増えたこと。
- ・特に多様なバックグラウンドを持つ会員との交流を通じて柔軟な考え方や広い視野を持てるようになったこと、信頼できる仲間が増えたこと。
- ・自身の職業活動の成果を基に様々な業種の方々と交える場が此処にもあると入会後に感じさせて頂いた事で3年間くらいは必死でクラブの例会と様々な会合に参加いたしました、当時はご年配でもあります先輩会員より可愛がって貰った事の楽しさが今も心に残っております。現在は己自身より若い会員の活躍が見られる事でクラブ主催の会合を楽しんでおります。

④ その他、ご意見ご要望をお聞かせください

- ・RIがあつての各地のロータリーも理解できるが、人口減少の中では拡大よりもクラブの質重視であった方が良く考えます。
- ・ガバナーの負担を少なくするべきです。形式的な県内54クラブ訪問を無くすべきです。ガバナー補佐から報告を受けていれば訪問をする必要は無いと思います、行動の負担が少なくなれば、ガバナー立候補者が多くなるのではないかと思います。
- ・分区の再編を進めて戴きたい。
- ・何でもかんでも会員増強は疑問を感じる。
- ・人口減少に伴い(会員減少)分区内クラブの交流を増やし、分区内のクラブ減少に備える
- ・クラブの用語で英語が多すぎる、名翻訳を作ってほしい。
- ・奉仕を学ぶプログラムをお願いします。
- ・分区内各クラブの運営方針、活動内容等の発表のみで良いと思います。

■ AG青柳が気付かされたご意見

- ・RIがあつての各地のロータリーも理解できるが、人口減少の中では拡大よりもクラブの質重視であった方が良く考えます。
- ・お世話になった皆様への感謝を伝える事と。受けた御恩を他の人に返す為の社会貢献の為に入会しました。
- ・ロータリークラブの年会費がライオンズに比べ高いと思いますが、例会数が少ないだけの問題ではないと思います。これから入会しようと思

う若い人たちはまず第一歩ここで足踏みをしてしまう。会員の入会拒否イコール年会費ではないと思いますが、入会拒否の原因の一つでもあります。今後ロータリークラブの年会費のあり方について、ガバナー補佐のご意見を伺いたいと思います。

- ・地区大会や周年式典など、内輪の催しにリソースを使い過ぎている。このエネルギーと資金を奉仕事業に振り向けたらどれほどの成果が生まれるだろう。地域を巻き込んだお祭りとして開催し一般の出店ブースも募り、誰もが参加して楽しめるような、ファンディングも含めたイベントとして実施したらどうだろうか。

会員増強は活動の結果であって、ロータリーの活動目標にしてはいけない。ろくな奉仕活動もせずに会員だけ集めてもただの異業種交流会だ。在籍する意味がない。

会員減少するならするで、将来の道筋を考えたほうが前向きだと思う。

- ・ロータリーは素晴らしい活動ですが、若手メンバーはじめ忙しい会員も多く、以前と比較して例会、行事に対する出席率(今はあまり言わなくなったが)が低いように感じる。比較的出席率の高かった年配(ベテラン)メンバーが退会され、入会の浅い、若手メンバーの出席率の低下が目立ってきているのでは。確たる原因はわからないが、もう少し気軽に参加できる仕組みや柔軟な活動スタイルが増えることでより多くの会員が積極的に関われると思う。



小林吾郎会員

燕ロータリークラブ主催の会
は、「いかにも燕らしい」と感じさせるものでした。会の進行には残念な点があり、開始が遅れたり、司会が途中で交代したりするなど、段取りの悪さが目立ちました。また、おもてなしとして用意された太鼓の演奏が、会話を妨げるほどの騒音になっており、参加者への配慮に欠ける印象を受けました。リハーサル不足などが原因かもしれません。

一方で、各テーブルでの交流は非常に有意義でした。新入会員から在籍47年の大先輩まで、様々な会員がそれぞれのテーブルに分かれて座り、「なぜロータリークラブに入会したのか」といったテーマでリアルな話を聞くことができたのは、大変面白く、良い経験となりました。誰かの講演を聞くだけの会よりも、こうした形式の方が今後の参考になると感じました。

清水泰生 会員



インターシティ・ミーティングに参加させていただいて、所感を交え、簡潔に報告させていただきます。

私は、昨年に引き続き2回目の参加となります。

今回は、早川幹事から事前にIMの報告をするようにと指示がありましたので、昨年のように、ただ漠然と参加する訳にはいかないと思い、勉強不足で恥ずかしいのですが、そもそもIMって何だろう? と思いましたが、最近の私の先生であります生成AIに「ロータリークラブにおけるインターシティ・ミーティングの目的は何」と聞いたところ、5項目提示されました。

間違っていたらすみません。

1. クラブ間の親睦と交流

地域内の複数クラブが一同に会し、会員同士の絆を深める

2. 情報と活動の共有

各クラブの奉仕活動や成功事例を紹介し、学び合う機会を提供

3. ロータリー理念の再確認

「奉仕の理想」や「四つのテスト」など、ロータリーの基本理念を振り返る場

4. 共同事業の可能性を探る

地域全体での奉仕活動や社会貢献に向けた連携のきっかけづくりの場

5. 新会員への啓発

ロータリーの広がりや意識を体感できる場として、新会員の理解と定着を促進する

今回は、このようにIMの目的を確認して参加しました。

① 講演会やプログラムの印象としては、

講演会は、ロータリーの友の編集長 野崎恭子様
が講演されましたが、講演時間が20分となっていたので、講演会にしては非常に短いなあと、どんな講演をされるのか非常に興味がありました。

講演内容といたしましては、「ロータリーの友」の編集のご苦労を中心にお話されておりましたが、ロータリーの友の記事は、成功体験ばかりで、もっと失敗談などを報告して欲しいとおっしゃっておりました。失敗から学ぶことが多いので、その失敗を掲載・共有することにより、「ロータリーの友」が、購読者にとってより役立つものにしてほしいとおっしゃっておりました。

野崎様の講演後、各テーブルで事前アンケートを基にしたディスカッションとなりました。私のテーブルは女性の比率が高く、お父さんがロータ

リアンだったので、その後を引き継いで加入しているという女性が多かったです。

そもそもディスカッションと言ってもメンバーの交流を深めることが目的のものであったので、何か結論を導き出すというではなく、自己紹介が中心のものでした。

② 次に運営や雰囲気についてですが、

今回のIMのテーマが「楽しいロータリー」ということだったので、「懇親と交流」を意識し、運営されていたように感じました。

端で見ていて、司会の方も一生懸命やられていたんですが、途中途中で青柳ガバナー補佐から色々指示があり、戸惑っていらっしゃったのがとても印象的でした。

そんなこともあり、印象としては、終始、青柳ガバナー補佐の独壇場だったような気がしました。

③ 最後に、他クラブとの交流を通じて感じたことや今後に活かしていきたいことですが、

他クラブの方とお話をさせていただいて、特に多様なバックグラウンドを持つ会員との交流を通じて、柔軟な考え方や広い視野を持つことが改めて大切だと感じました。

そして、今後もこの地域に根差した奉仕活動を展開することにより、三条RCの存在意義の高揚が図れればと感じましたので、可能な限り積極的に各種活動に参加していきたいと思います。



早川滝徳 幹事

9月27日（土）に燕三条ワシントンホテルで行われましたIMに参加してきました。

三条クラブからは28名の参加でした。14時開会でしたが開会前にウエルカム演奏として、開会演奏も

された「飛燕太鼓」が披露されました。青柳ガバナー補佐の開会点鐘、燕RCの本間IM実行委員長の挨拶、青柳ガバナー補佐から主催者挨拶があった後、「ロータリーの友」編集長の野崎恭子様の講演会がありました。

講演会の後、各クラブメンバーがバラバラになったテーブルで話し合いを行ったのですが、今回のIMの目玉はここだったのかなと感じます。自己紹介から始まり、事前アンケートの内容を各クラブ会長幹事がそれぞれのテーブルのテーブルマスターになり、意見を言い合うといった内容でした。私も1テーブルのテー

ブルマスターとしての進行でしたが、1テーブルは、燕クラブ2名、吉田クラブ1名、分水クラブ1名、三条クラブが私と相場さんの6名でそれぞれが入会年度も経験もバラバラで話し合いましたが、改めてロータリークラブに在籍し続けている意味などそれぞれの立場で話し合え、また他の立場の方からの意見も聞けたのでいい場だったと感じます。

その後、室賀ガバナー、野崎編集長から講評があり懇親会に移りました。懇親会では先ほど意見を言い合った他クラブの方と今度は気を抜いての意見交換ができたと感じます。乾杯の際に富山ガバナーエレクトも言われてましたが、同じクラブ同士だけではなく他クラブのメンバーと話し合うことで自分の所属しているクラブのことも客観的にみれるのかなと思いました。

とてもいい時間を過ごさせていただきました。

IM報告

① なぜ、あなたはロータリアンですか？

- ・あえてロータリアンでなくても良かったが、父親が同様の会に入っていた姿を見て楽しそうだったので自分が何らかの奉仕活動することに抵抗はなかった。
- ・日常生活では知り合えない方々と交流ができる
- ・自己研鑽の場であり、社会にとって良いことをしようというメンバーと交流できるから
- ・大先輩方から昔の地域の話など聞かせていただいたり、立ち振る舞いなどで指導いただける点です。年齢によって卒業がある青年団とは違う刺激があります。
- ・先輩に強引に勧められて入会しました。
- ・知人に誘われたから
- ・知人にさそわれてなんとなく入会した
- ・知人に誘われてロータリーに入会しました。
- ・平成元年7月入会 三条青年会議所会員であり、二足のわらじでした。それ以来36年間在籍中です。なぜなのは2名の方に勧められたから。
- ・父がチャーターメンバーであり自動的に入会させられた

- ・他地区（隣接市）からの入会であり、当地区を代表する人格者の皆様と交流を深めたいとの思いをきっかけに、現在では奉仕を通じて自己研鑽や学びの場として大切な会の一員と認識しています。
- ・奉仕活動を使命として実践する。
- ・RCを通して社会に奉仕したい。
- ・ロータリアンだった親の意志を継いで。
- ・取引先の会長からすすめられて入会しました。
- ・奉仕を学び個人で奉仕を実践し、地域に奉仕の機会を提供し尊敬されるためのロータリアンでいたいと思います。生涯の親友がロータリアンなので。
- ・前任者がロータリークラブに所属しており、そのご縁を引き継ぐ形で入会しました。地域との関りを大切にするのは自然の流れでした。
- ・ある時にロータリークラブは時代とともに環境が変化している中で、新しきビジネスが生まれている背景の中、職業奉仕の実践の成果を基に社会の変化に適応しながら発展してゆく団体であると20年以上前の地区大会で聞いたことがあります。これから何に向かうのか、どんな方向へ、そして如何あるべきかを問わなければいけない。これは自身の学びにも通じることであると感じます。要は今存在しているクラブ会員で有る事が即ちロータリアンであると思う。

② ローターリーで好きな活動は何ですか？

- ・会員同士の親睦活動。
- ・例会の参加
- ・親睦を回れる活動
- ・地区大会参加が好きです。同志が一堂に会しその雰囲気が大変気に入っています、その後の講演そして懇親会が楽しみです。
- ・毎週の例会、いろいろの方と話ができるため。
- ・親睦旅行
- ・交流を通じた情報交換
- ・例会
- ・社会奉仕活動で公園の草刈り、施設へのサンタ、施設での餅つき等です。
- ・社会奉仕、国際奉仕（姉妹クラブも含む）活動。
- ・社会奉仕 この頃は金さえ出せばよいという風潮になってきている？



- ・ポリオ撲滅に対する活動は非常に共感しています。
- ・社会奉仕活動
- ・社会奉仕活動
- ・例会
- ・社会奉仕
- ・日々重なる国際ロータリー活動や規則に学び、地区の皆様からの問い合わせにお答えする活動が好きです。ロータリーで学んだ奉仕の精神を自らの活動で実践できること。
- ・会員の意見交換を通じて深められる各種懇親会。
- ・クラブから感じた事を自身の職業にも生かしながら、且つクラブ活動の中で様々な奉仕活動の実践、そして親睦と多様性そして高潔性、次に指導性を以て地域社会に多く貢献した行動そのものが好きな活動と考える。
- ・クラブ内における交流で会員相互の友愛と理念を持った活動から自身の人生に生かせる様々な考えと力を得られている事が大変に良き事と思っている。何れにしろ、全ては巡り合わせ。



③ ローターリーに入って良かったと思う経験は何ですか？

- ・若造と年齢の人など世代を越えた交流ができたこと。特に長い経験を経た人たちの話はとても参考、救いになった。
- ・特段のトピックスはありませんが、例会参加をはじめとする活動そのものがいい経験になっている。
- ・異業種、異世代との交流。
- ・名古屋へ出張時のメイクアップの事です。尾張徳川 2 1 代目徳川義宣氏の卓話でした、四才から学習院で上皇と同期の方でした、徳川美術館が戦災でやられそれを現在の美術館に復興する話でした、気さくで話をされていました。かえって回りの方達が緊張をしていたように感じた、このような機会はめったにないと思いました。
- ・同年代以外の知り合いが増えた事。
- ・仕事以外の人達と親しくお付き合いが出来る事。
- ・仲間。
- ・多くの人と知り合いになった。
- ・異業種の人々と知り合いに成れた事です。



- ・異業種の方々との知り合い、懇親を深めて友情を育む事は人生にとって必要と思われるから。
- ・色んな知人ができた。
- ・入会していなければ直接お話ができないような大先輩の方々から直接指導や薫陶をいただけたことです。
- ・地域社会において交友関係が広がった。
- ・財団の資金を活用して、地元の文化活動を応援させていただいたこと。
- ・たくさんの仲間ができた事。
- ・異業種との交流。
- ・世界大会への参加です。世界中から集まるロータリアンと同じバッチを胸につけて、同じ志に燃れることができた経験です。他地区のMakeupなどで知り合いが増えたこと。
- ・特に多様なバックグラウンドを持つ会員との交流を通じて柔軟な考え方や広い視野を持てるようになったこと、信頼できる仲間が増えたこと。
- ・自身の職業活動の成果を基に様々な業種の方々や交える場が此処にもあると入会後に感じさせて頂いた事で3年間くらいは必死でクラブの例会と様々な会合に参加いたしました。当時はご年配でもあります先輩会員より可愛がって貰った事の楽しさが今も心に残っております。
- ・現在は己自身より若い会員の活躍が見られる事でクラブ主催の会合を楽しんでおります。





三条RC会員 交流掲示板が 更新されました!

角田山登山と温泉

早朝登山でカーブドッチへ!

- 幹 事 / 伊藤浩志 会員
- 場 所 / いとう屋駐車場
- 開催日時 / 10月29日(水) 4:45集合



～ 例会の様子 ～



次 週 例 会 10 月 15 日 「米山月間」
高橋俊樹 米山記念奨学委員長

次々週例会 10 月 22 日 「外部卓話」
三条市国際交流員 ライアン・サム様



皆様の写真で
本週報の表紙を
飾って
みませんか?

今期の三条ロータリークラブ週報では、皆様より表紙の写真を募集いたします。
日常の風景から旅先のスナップ・渾身のワンカットなど、会員様の素敵な写真をご提供ください。
画像タイトル(キャプション)を入れてメールでお送りください。
宛先は渋谷会員宛「m-shibuya@san-in.biz」までお願いいたします。
※投稿者名を非掲載希望の方は、メール送信時にその旨ご記載ください。
※応募者多数の場合は掲載されない場合もございます。ご容赦願います。